

1. 教育計画

分野	専門分野 公衆衛生看護学	科目名	成人・高齢者保健活動
単位・時間	1 単位・30 時間	対象学年	3 年生
方法	講義・演習	時期	後期
講師名 (担当授業時間数)	成人保健活動 専任教員 平田 あかり (8 時間) 高齢者保健活動 専任教員 小林 志保 (8 時間) 保健指導演習 法人講師 佐藤 正基 (8 時間) 家庭医の視点から 法人講師 星 吾朗 (2 時間) 歯科保健活動 法人講師 坂本 雅子 (2 時間)		
講師の実務経験	平田：看護師として星総合病院に10年3か月 小林：看護師として星総合病院に10年1か月		
学習目標	1. 成人・高齢者に対する保健活動の意義を理解し保健指導の実際を学ぶ 2. 成人・高齢者に対するより健康な生活への働きかけと看護職者の役割を理解する。		
成績評価方法	筆記試験 100 点 (成人保健 50 点、高齢者保健 50 点)		
使用テキスト	医学書院 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動		
参考文献	国民衛生の動向		
履修上の留意	成人看護学概論・老年看護学概論の講義の復習をして臨む		
講師からの メッセージ	成人：地域における成人期を対象とした保健活動を学びます。みなさんも成人期にあたりますので、対象の一人として、現代の国民病とも言える生活習慣病を中心に学んでいきましょう。 高齢者： 高齢化が急速に進行している中、高齢者を取り巻く社会情勢は介護保険制度の改正などめまぐるしく変化しています。介護予防の視点から要支援・要介護状態にある高齢者の改善や重度化予防などについて考えていきましょう		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
1	2	高齢社会の動向と特徴	高齢者の生活、高齢者の健康 高齢者保健の動向と現状	講義	小林
2	2	高齢者保健制度と健康課題	高齢者保健の変遷と制度 高齢者の健康課題と支援対策	講義	小林
3	2	健康課題における支援活動	介護保険制度と介護予防活動 認知症の動向と施策・制度 高齢者虐待と権利擁護	講義	小林
4	2	高齢者支援活動の実際	高齢者支援における保健師の役割と活動の展開	講義	小林
5	2	成人保健の動向と施策	成人保健の対象と動向、生活習慣病の現 成人保健施策の変遷・関連法規	講義	平田

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
6	2	成人期の生活と保健指導	成人期の特徴と課題 成人期の保健指導のポイント	講義	平田
7	2	健康づくり	健康づくりにおける保健師の役割と活動の展開 ・住民や関係機関との協働、環境づくり ・職域との連携	講義	平田
8	2	生活習慣病予防	生活習慣病予防における保健師の役割と活動の展開 特定健康診査・特定保健指導 メタボリックシンドローム がん対策	講義	平田
9	2	特定健診・保健指導の概要	特定健診・保健指導の現状と方法	講義	佐藤
10	2	特定健診・保健指導の展開	事例に沿った健診結果分析及び指導内容の検討	演習	佐藤
11 12	4	特定健診・保健指導 発表	共有会	演習	佐藤
13	2	家庭医の視点から	家庭医の視点から地域連携の必要性	講義	星
14	2	歯科保健活動	歯科保健活動の実際	講義	坂本
15	2	試験	筆記試験		